

2018 競技注意事項

- 1 競技は、2018年（公財）日本陸上競技連盟競技規則および大会要項ならびに競技注意事項によって行う。
- 2 ウォーミングアップは、補助競技場（スワンフィールド）、または室内練習場とする。尚、スワンフィールド及び室内練習場へは、選手及びコーチ以外入ることができません。また、スワンフィールド内芝生には、コーチ以外立ち入ることができません。その他、ウォーミングアップ場系の指示に従うこと。
- 3 競技者は、受付で渡すナンバーカードをユニフォームの背と胸につける。但し、跳躍競技に出場する競技者は、胸か背のいずれか一方でもよい。
- 4 トラック競技出場者およびリレーのアンカーは、腰ナンバー標識（横18cm×縦12cm、黒字のレーンナンバー）を右腰やや後方につけて、四隅をきちんととめる。なお、腰ナンバー標識・安全ピンは、各団体で用意する。
- 5 競技場はすべて全天候型のため、ランニングシューズまたは陸上競技用スパイクシューズを使用してもよいが、スパイクの長さは7mm以下とし、スパイクピンの先端が鋭利なもの（シンダーピン）を使用する場合はスパイクの先端近くで長さの半分以上は4mm四方の寸法に適合したものであること。なお、裸足での競技は禁止とする。
- 6 招集点呼は次のように行う。
 - (1) 招集所は100mスタート地点後方の倉庫内で行う。
 - (2) 招集時刻については、トラック競技は競技開始35分前に開始し、**20分前に完了**する。フィールド競技は競技開始55分前に開始し、**40分前に完了**する。
 - (3) 競技者は、招集開始時刻までに招集所に集合し、点呼を受ける。その際、役員にナンバーカードとスパイク、競技場内への持ちこみ物品の確認を受け、その場に待機する。
 - (4) 事前に棄権がわかっている場合は、競技者係（招集所）に申し出ること。
- 7 競技方法について
 - (1) トラック競技について
 - ① 予選はタイムレースとし、上位8名または8チームで決勝を行う。同記録で9名以上の場合は抽選で8名に決定する。抽選は競技者の呼び出し後、5分以内に完了するので監督、競技者は注意すること。
 - ② スタートについて
 - ◆ スタート合図は**イングリッシュコマンド（オン 17 マーク・セット/オン 17 マーク）**とする。
 - ◆ 100m、80mハードル、リレーのスタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
 - ◆ スタートの不適切行為（最後のスタート体勢から静止しない等）があったときは、指導する。
 - ◆ 同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。
 - ③ 80mハードルは以下の通り。

ハードルの高さ	第1ハードルまで	ハードル間	最終ハードルからフィニッシュ地点	台数
70 cm	13 m	7 m	11 m	9台

④ **4 × 100 mリレーのオーバーゾーンは、新ルール（30 m）を適用する。**

⑤ リレーのオーダーは、所定の用紙に記入し、男女ともに9時00分までに競技者係（招集所）に1部提出する。友好レースに出場する選手は走順欄に「友好」と記入する。

⑥ 友好100 mに出場できる者はリレーの補欠になっていることとする。

(2) フィールド競技について

① 男女の走高跳（はさみ跳）について

◆ マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。

◆ バーの上げ方は以下の通り。ただし、状況により変更することもある。

（練習95 cm）男子は100 cm、女子は90 cmから5 cmきざみとする。

◆ 1位決定後の上げ方は、本人の希望により決める。

◆ 1回の試技時間は1分以内とする。

② 男女の走幅跳について

◆ 試技は3回までとする。トップ8はおこなわない。

③ ジャベリックボール投について

◆ やり投ピットを使用し、助走路は15 m以内。

◆ 投げ方は、オーバーハンドスローとする。

◆ ボールは主催者側で用意する。

◆ 試技は3回で、公式練習は1回とする。

(3) 競技用具は会場備え付けのものを使用すること。

(4) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに数字で示す。

(5) 各種目のリザルト（競技結果）および決勝のスタートリスト（番組編成）は、100 mスタート後方の第4ゲートの壁面の掲示板に掲示する。

8 表彰について 各種目1位～3位にはメダルと賞状 4位～8位までの入賞者には賞状を授与する。

9 各種目の男女優勝者・優勝チーム（リレー）は、全国大会への手続きがありますので、必ず監督の方と一緒に全員残って、係の指示に従う。

10 競技者・役員・認められた介助員以外は絶対にトラック・フィールド内に入らないこと。

11 ゴミは各自持ち帰ること。

12 チームテント及びシートの設置は、決められた場所以外認めない。

13 競技会中に発生した傷害・事故等については、主催者側で応急処置するが、その後の処置については、主催者側で加入しているスポーツ傷害保険の範囲としますので、十分注意をして下さい。

14 個人情報に関しては、本競技会関連でのみ使用いたします。 但し、大会結果及び大会関連写真等の掲載をホームページ等でおこなう場合がありますので、ご了承ください。